

# SABO NEWS LETTER

第 65 号【発行日】平成 15 年 11 月 25 日（火）【発行】（社）全国治水砂防協会

## 目 次

- 1 . 目次、当面の行事予定 . . . . . 1
- 2 . 国土交通省砂防部長よりご挨拶 . . . . . 2
- 3 . 砂防部配置図（11/1 現在） . . . . . 3
- 4 . 平成 15 年災害関連緊急砂防事業および  
直轄砂防関係災害復旧事業採択一覧 . . . . . 5
- 5 . 富士山火山防災マップに関する住民等への意見募集について . 6
- 6 . 「九州ブロック市町村職員砂防研修会開催される」 . . . 7
- 7 . 土砂災害に対する警戒・避難のためのゼミナール（案） . . 8

## 行 事 予 定

- 11/25（火）全国治水砂防協会理事・顧問会議（砂防会館霧島会議室 16：00～）  
11/27（木）全国治水砂防協会北信越地区支部長会議（新潟県妙高高原町）  
12/1（月）全国治水砂防協会代表参与会（砂防会館特別会議室 11：30～）  
赤木正雄顕彰事業表彰選考委員会（砂防会館特別会議室 13：15～）  
全国治水砂防協会参与会（砂防会館立山会議室 14：30～）  
全国治水砂防協会直轄砂防事務所長連絡会（砂防会館立山会議室 16：00～）  
砂防ボランティア全国連絡協議会（砂防会館六甲会議室 17：00～）  
砂防旧交会（砂防会館木曾・淀会議室 18：00～）  
12/2（火）全国治水砂防促進大会（砂防会館利根会議室 11：00～）

ご質問、ご意見、ご感想、記事の詳細内容等、お問合せ先

**社団法人 全国治水砂防協会**

担当 小林，宮内，阿部，畑川，藤川

住所 〒 102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-5 砂防会館内

電話 03-3261-8386 FAX 03-3261-5449 E-mail : kyokai@sabo.or.jp

砂防に関する最新情報は砂防協会ホームページをご覧ください

<http://www.sabo.or.jp/>

## 会員の皆様へ

秋も深まってきましたが、この時期各地で砂防関係の行事がとりおこなわれており、災害史の継承や防災意識の高揚あるいは砂防について周知するためなどのイベントがおこなわれ、関係の皆様のご協力に感謝申し上げます。

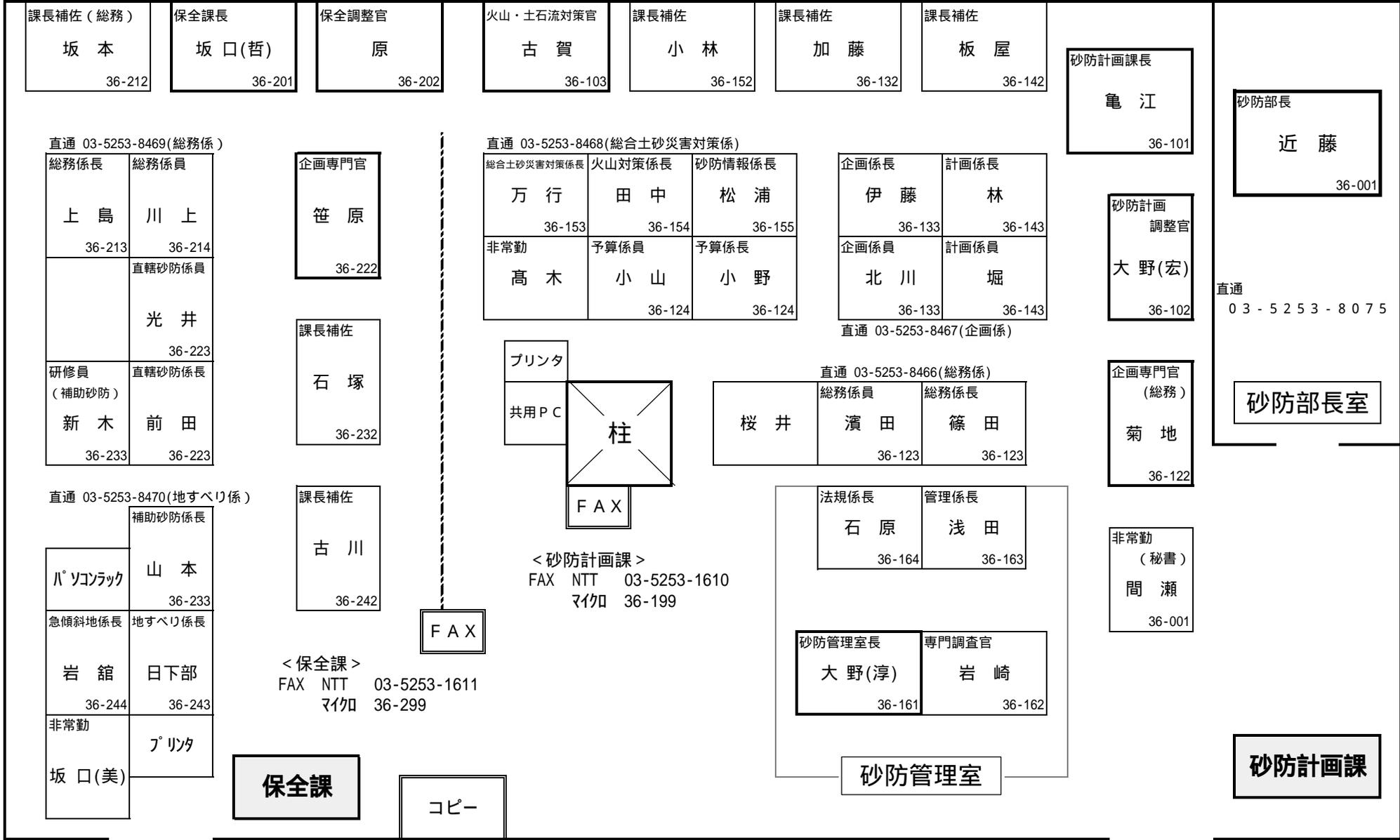
地すべりフォーラムが石川県白峰村で、火山砂防フォーラムが岐阜県上宝村で、桜島火山砂防記念シンポジウムが鹿児島市で、風倒木と土砂災害をテーマに砂防学会シンポジウムが奈良市で、東南海・南海地震防災セミナーが和歌山県串本町で開催され、何れも多く参加者のもと有意義に行われました。

## 防災学習

焼岳を控える上宝村での火山砂防フォーラムでは、子供と女性が研究発表者として参加し、防災教育や日常生活の中の防災について考えさせられました。子供のときから火山の成り立ちや火山がもたらした災害そして火山の恵みについて学ぶことは、地域全体の防災力を高めることにつながり大変大切なことでもあります。火山が形成した脆弱な地質により土砂災害に悩まされてきた上宝村は1997年に「砂防学習村」を宣言し、小学生向けの副読本を作成し地域学習、防災教育に取り組み、安全で災害に強い村づくりを目指しておられます。こうした着実でかつ先駆的な取り組みが、全国の火山災害や土砂災害の歴史を持つ地域の参考となり広まっていくことを期待しています。

## 地震・津波・がけ崩れと避難場所

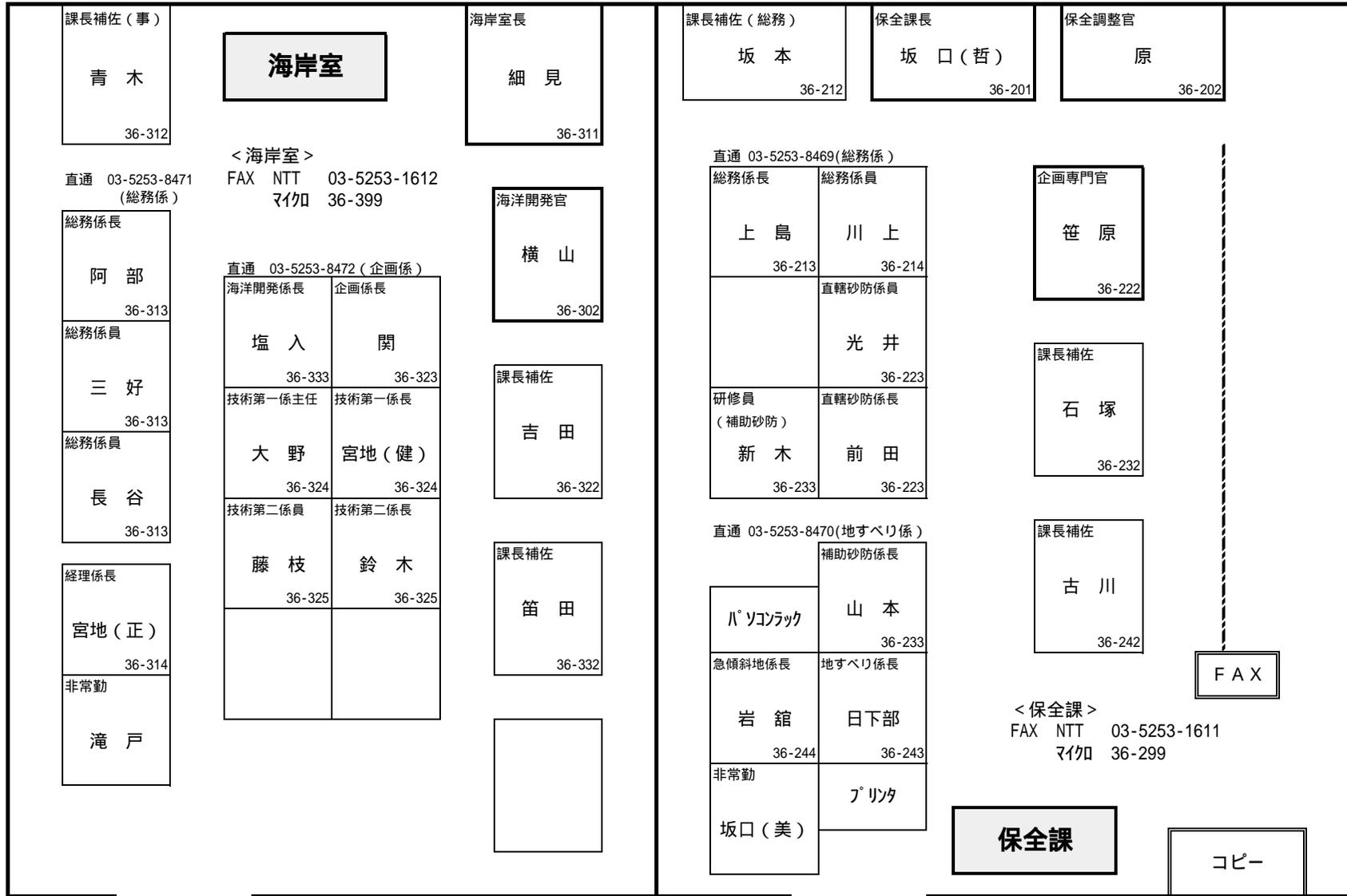
和歌山県の東南海・南海地震防災セミナーでは、海岸部で最も甚大な被害を惹き起こす津波とがけ崩れについての話題提供がありました。太地町長から急傾斜地崩壊対策と合わせて津波からの避難場所に斜面を改変していく「特定利用斜面保全事業」の町での実施事例とその活用必要性の話がありました。海岸部で山が迫り狭隘な平地に生活基盤が形成されている所が我が国には多くあり、地震時には津波とがけ崩れの危険性に面しています。砂防部として、こうした地域での急傾斜地崩壊対策事業を計画的に実施していくことにしており、その際避難地の造成を自治体と一緒にやっていく「特定利用斜面保全事業」を積極的に活用し、地震に強い町づくりに役立てて頂きたい。



砂防部配置図

**砂防部保全課 配置図**

〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-3



平成15年災害関連緊急砂防等事業および直轄砂防関係災害復旧事業採択一覧

平成15年9月30日現在

平成15年 災害関連緊急砂防事業 採択箇所

No.	発生日	災害発生箇所				級	災害発生渓流			備考
		都道府県	都・市	町・村	字		水系名	幹川名	溪流名	
1	4/23	新潟県	小千谷市		真人町	1	信濃川	真人沢川	小真人沢	
2	4/25	長野県	木曾郡	上松町	荻原	1	木曾川	荻原沢	荻原沢	
3	4/23	徳島県	美馬郡	一字村	木地屋	1	吉野川水系	真光川	片川	
4	7/4	静岡県	静岡市		大和田	2	小坂川水系		大和田沢	
5	6/21	宮崎県	北諸県郡	三股町	長田	1	大淀川水系		飯屋谷川	
6	7/19	福岡県	大宰府市		三条	2	御笠川	御笠川	原川	
7	7/19	福岡県	嘉穂郡	筑穂町	中畑	1	遠賀川	大分川	大分川	
8	7/19	福岡県	嘉穂郡	筑穂町	内住	1	遠賀川	穂波川	内住川	
9	7/19	熊本県	水俣市		宝川内	2	水俣川	宝川内川	集川	
10	7/19	熊本県	水俣市		深川	2	水俣川	水俣川	西川	
11	7/19	徳島県	海部郡	由岐町	伊座利	2	伊座利川	伊座利川	奥地谷	
12	7/19	徳島県	海部郡	由岐町	志和岐	2	志和岐川		志和岐川	
13	7/19	福岡県	糟屋郡	宇美町	宇美	2	多々良川	宇美川	宇美川	
14	7/19	福岡県	糟屋郡	宇美町	宇美	2	多々良川	宇美川	仲山川	
15	7/20	熊本県	水俣市		深川	2	水俣川	湯出川	新屋敷	
16	7/20	熊本県	水俣市		深川	2	水俣川	水俣川	園郷川	
17	7/20	熊本県	水俣市		宝川内	2	水俣川	水俣川	新屋敷	
18	7/30	鹿児島県	鹿児島市		吉野町	その他	平松谷第4		平松谷第4	
19	8/9	北海道	新冠郡	新冠町	里平	2	厚別川	厚別川	里平川	

平成15年 災害関連緊急地すべり対策事業 採択箇所

NO	発生日	所在地				備考
		県名	都市	町村	箇所名	
1	3/20	山形県	天童市		小路	
2	4/1	新潟県	東頸城郡	牧村	岩神	
3	3/1	山梨県	大月市		奥山	
4	4/9	長野県	下高井郡	山ノ内町	仏岩	
5	4/14	長野県	上水内郡	小川村	下北尾	
6	4/15	山形県	東根市		大撫山	
7	6/30	福岡県	八女郡	星野村	十籠	
8	7/11	北海道	白糠郡	白糠町	岬	
9	7/4	静岡県	静岡市		丸子逆川	
10	7/4	静岡県	志太郡	岡部町	子持坂	
11	7/12	島根県	平田市	三津町	西谷上	
12	7/20	長崎県	西彼杵郡	西彼町	鱈淵	
13	7/21	大分県	日田郡	前津江村	堂尾	
14	8/9	和歌山県	東牟婁郡	本宮町	本宮	
15	7/26	宮城県	桃生郡	河南町	樋谷沢	
16	8/17	静岡県	榛原郡	金谷町	神尾	

平成15年 災害関連緊急急傾斜地崩壊対策事業 採択箇所

No	発生日	所在地				備考
		都道府県	市・郡	区・町・村	箇所	
1	4/10	静岡県	賀茂郡	賀茂村	大久保	
2	5/26	宮城県	気仙沼市		魚町三丁目	
3	5/26	宮城県	気仙沼市		太田二丁目	
4	5/26	宮城県	牡鹿郡	牡鹿町	前浜の2	
5	5/30	宮崎県	東諸県郡	国富町	上馬場	
6	5/26	岩手県	釜石市	駒木町	駒木	
7	6/14	宮崎県	延岡市	鯛名町	鯛名第3	
8	6/17	宮崎県	宮崎郡	佐土原町	津倉	
9	7/4	静岡県	静岡市		大和田	
10	7/26	宮城県	桃生郡	北上町	鯉取	
11	7/26	宮城県	桃生郡	鳴瀬町	往還	
12	7/26	宮城県	桃生郡	鳴瀬町	宿浦	
13	7/26	宮城県	桃生郡	鳴瀬町	裏丁	
14	7/26	宮城県	桃生郡	鳴瀬町	小野	
15	7/26	宮城県	桃生郡	鳴瀬町	台前の2	
16	7/26	宮城県	桃生郡	鳴瀬町	北赤崎	
17	7/26	宮城県	桃生郡	河南町	北村	
18	7/26	宮城県	桃生郡	雄勝町	小泊	
19	7/26	宮城県	志田郡	松山町	丸山	
20	7/19	福岡県	北九州市		帆柱4丁目	
21	7/19	福岡県	北九州市		市瀬二丁目	
22	7/19	福岡県	北九州市		西丸山町	
23	7/19	福岡県	北九州市		大谷2丁目	
24	7/19	福岡県	田川郡	赤池町	高尾	
25	7/19	福岡県	田川郡	赤池町	旭ヶ丘	
26	7/19	福岡県	飯塚市		立岩	
27	7/19	福岡県	嘉穂郡	穂波町	津原	
28	7/19	福岡県	嘉穂郡	穂波町	安恒	

## 富士山火山防災マップに関する住民等への意見募集について（記者発表資料）

平成 15 年 8 月 27 日  
内閣府  
総務省  
国土交通省  
神奈川県  
山梨県  
静岡県

富士山ハザードマップ検討委員会（事務局：内閣府、総務省、国土交通省）では、作成をすすめている富士山火山防災マップについて、最終的に住民等の意見を反映させるため、神奈川県、山梨県、静岡県の各市町村役場等への提示、インターネットによる公開、試作版を作成した地域における意見募集のための説明会を通じて、住民等の意見を伺うこととしましたので、お知らせします。

1. 地元の市町村役場・公民館等への掲示による意見募集  
・方法 防災マップを提示し、必要事項、ご意見をご意見提出フォームに記入し、ご意見箱等へ投函する。  
・期間 平成 15 年 8 月 27 日（水）から平成 15 年 9 月 20 日（土）
2. インターネットによる意見募集  
・方法 内閣府ホームページにてマップを掲載し、必要事項、ご意見をご意見提出フォームに記入し送信する。  
・期間 平成 15 年 8 月 27 日（水）から平成 15 年 9 月 20 日（土）  
・ホームページの URL <http://www.bousai.go.jp/fujisan/goikenbosyuu>
3. 意見募集のための説明会の開催  
試作版を作成した、神奈川県足柄地区、山梨県富士吉田市、静岡県御殿場市にて、説明会を開催し、会場にて意見を受け付けます。

## 説明会の日時と場所

神奈川県	日時	9 月 19 日（金）	19 時から 20 時 30 分
	場所	大井町立中央公民館	
山梨県	日時	9 月 10 日（水）	15 時から 17 時
	場所	富士五湖文化センター	
静岡県	日時	9 月 16 日（火）	14 時から 16 時
	場所	御殿場市民会館	

## 問合せ先

内閣府	参事官補佐（地震・火山対策担当）	齋藤 誠	（03 - 3501 - 5693）
	参事官（地震・火山対策担当）付主査	平 祐太郎	（ " " ）
総務省消防庁防災課	理事官	緒方 啓一	（03 - 5253 - 7525）
国土交通省河川局防災課	災害対策室 課長補佐	藤原 智	（03-5253-8111 内 35-832,03-5253-8461）
" 気象庁地震火山部管理課	地震情報企画官	宇平 幸一	（03-3212-8341 内 4581）
神奈川県災害対策課	応急対策班		（045 - 210 - 3521）
山梨県消防防災課	防災対策担当		（055 - 223 - 1432）
静岡県防災情報室	防災情報スタッフ		（054 - 221 - 3366）

\* 本発表は、内閣府、総務省、国土交通省、神奈川県、山梨県、静岡県で同時発表

## 「九州ブロック市町村職員砂防研修会」開催される

平成 15 年 11 月 5 日（水）、熊本市において「九州ブロック市町村職員砂防研修会」を下記のとおり開催致しました。この研修会は、地域市町村が土砂災害対策について密接に関連し、重要な役割を担っていることから、市町村の関係職員の方々にも砂防に対する理解を深めていただくことを目的として、昭和 63 年から平成 7 年まで全国を 8 ブロックに分け、開催してきました。そして、この度平成 15 年より九州ブロックを皮切りに再開することとなりました。講師として、国土交通省砂防部および国土技術政策総合研究所より 3 名の方にお越しいただき、市町村職員の方々にもわかりやすい砂防関係事業の講演を聴くことができました。

当日は、雨にもかかわらず、九州各地から約 120 名の市町村職員の方々に参加して下さいました。多数のご参加ありがとうございました。

本研修会の開催にあたり、ご多忙の中ご列席下さった熊本県治水砂防協会の岡部鷹司会長をはじめ、貴重なご講演を頂いた国土技術政策総合研究所の寺田秀樹砂防研究室長、国土交通省砂防部の大野淳砂防管理室長、大野宏之砂防計画調整官並びに本研修会の準備及び進行に際し、種々のご支援・ご協力をいただいた熊本県土木部砂防課の皆様方に厚く御礼申し上げます。

次回の研修会は中国ブロックの広島県で開催予定となっております。地域市町村の砂防関係職員の方々はもとより、消防・防災関係職員の方々の多数のご参加をお待ち致しております。

### 研修会プログラム

#### 1. 開会挨拶

熊本県治水砂防協会 会長 岡部 鷹司

#### 2. 講演

土砂災害から学ぶ

国土技術政策総合研究所危機管理技術研究センター砂防研究室長 寺田 秀樹

土砂災害防止法

国土交通省砂防部砂防計画課 砂防管理室長 大野 淳

国土づくりと砂防

国土交通省砂防部砂防計画課 砂防計画調整官 大野 宏之

#### 3. 閉会挨拶

社団法人全国治水砂防協会 技術顧問 岡本 正男

**土砂災害に対する警戒・避難のためのゼミナール（案）**

時 期 毎年 1 月下旬

場 所 東京

全体内容（仮題）

- 1 年目
- ・ 降雨・集中豪雨のメカニズム  
小野 俊行（株式会社ハレックス顧問、元気象庁長官）
  - ・ 土砂災害警戒・避難に関する施策  
小林 幹男（国土交通省砂防部砂防計画課）
  - ・ 土砂災害警戒・避難基準雨量の設定  
菊井 稔宏（砂防・地すべり技術センター）
  - ・ 広島県での情報提供  
本家 正博（広島県河川砂防総室砂防室）
  - ・ 広島市における事例  
萬ヶ原 伸二（広島市下水道局建設部河川課）
- 2 年目
- ・ 気象予測
  - ・ 法制度によるソフト対策
  - ・ 災害の伝承
  - ・ 市町村地域防災計画
  - ・ 災害後の事例
- 3 年目
- ・ 火山
  - ・ 火山と土砂災害
  - ・ 火山による土砂災害に対する警戒・避難
  - ・ 火山による警戒・避難の事例
  - ・ 富士山のハザードマップ
- 4 年目
- ・ 地震
  - ・ 地震と土砂災害
  - ・ 二次災害に対する警戒・避難
  - ・ 天然ダム・雪崩・地すべり
  - ・ 避難訓練報告

（次項に続く）

## 記

## 1. 目 的

梅雨前線および台風等に伴う豪雨や地震を起因とする土砂災害は毎年、全国各地で発生しています。今年も水俣地区の災害を始め、各地で土砂災害による甚大な被害が発生しました。

このような土砂災害を防止するため、現在、国や都道府県及び市町村ではハード・ソフト両対策を併せた総合的な土砂災害防止対策を実施しています。ソフト対策の中で、特に重要になるのが警戒・避難に関する施策です。しかしながら、災害発生の危険性の予測および避難を判断する基準が十分に確立されていないという現状にあり、本研修会は市町村を対象とする防災担当者の警戒・避難に対する防災意識の向上を目的として開催することとなりました。

2. 主 催 社団法人全国治水砂防協会

3. 開催日時 平成 16 年 1 月 23 日 ( 金 ) 10:30 ~ 17:00

4. 開催場所 砂防会館別館 1 階「利根」会議室 ( TEL : 03 - 3261 - 8386 )

## 5. 内 容 ( 案 )

## 1) 開会挨拶

大久保 駿 ( 社団法人全国治水砂防協会理事長 )

## 2) 講演 ( 仮題 )

- ・ 降雨・集中豪雨のメカニズム  
小野 俊行 ( 株式会社ハレックス顧問、元気象庁長官 )
- ・ 土砂災害警戒・避難に関する施策  
小林 幹男 ( 国土交通省砂防部砂防計画課 )
- ・ 土砂災害警戒・避難基準雨量の設定  
菊井 稔宏 ( 財団法人砂防・地すべり技術センター )
- ・ 広島県での情報提供  
本家 正博 ( 広島県河川砂防総室砂防室 )
- ・ 広島市における事例  
萬ヶ原 伸二 ( 広島市下水道局建設部河川課 )